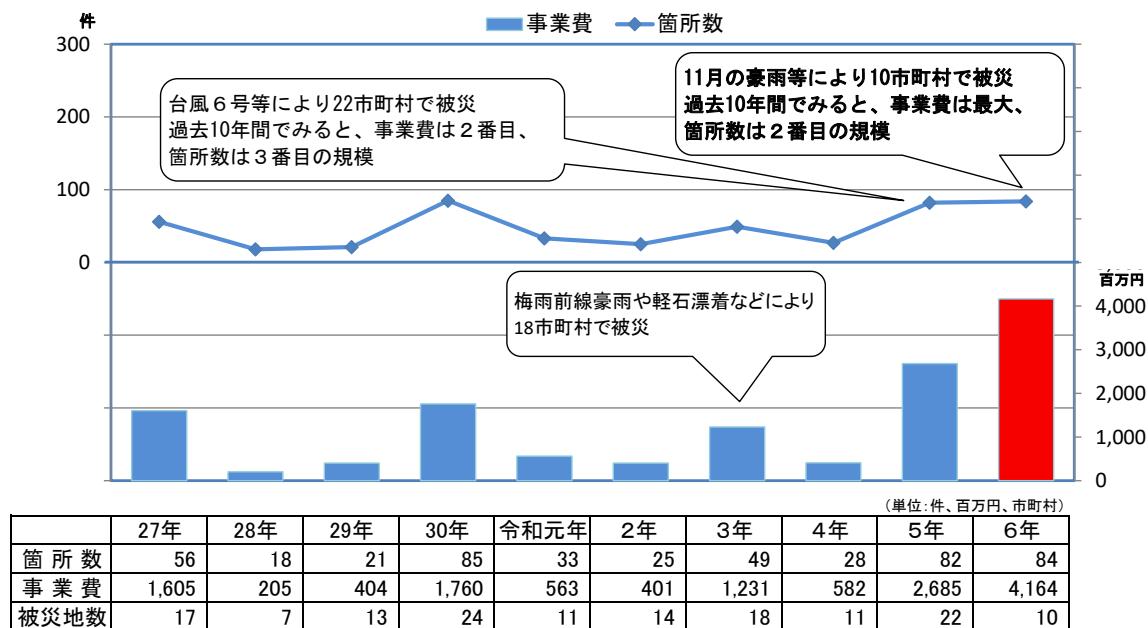


## 令和6年災害復旧事業費の状況について

- 令和6年の災害復旧事業費の査定立会結果は 約41.6億円
- 過去10年間でみると事業費は最大、箇所数は2番目の規模

### 1. 災害復旧事業費の状況

- 令和6年に管内で発生した災害に係る災害復旧事業費の査定立会結果は、84件、4,164百万円となった。
- 過去10年間でみると、事業費は最大、箇所数は2番目の規模。



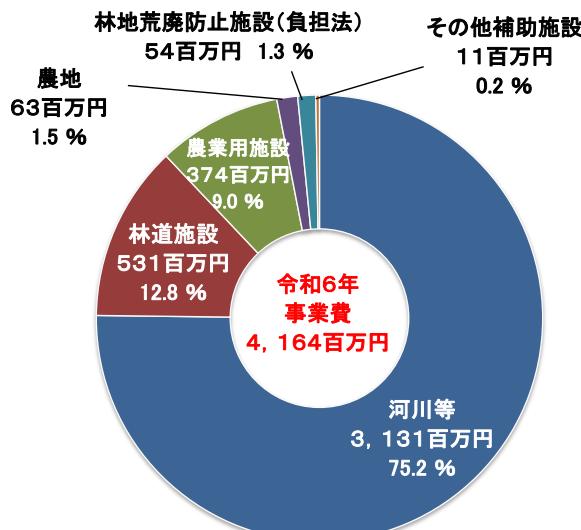
※ 過年災(R5年以前の災害)についても、R6年度に査定を実施したため、前回公表時から数値が変動している箇所がある。

#### (参考) 沖縄地方の天候(抜粋) (出所: 沖縄気象台)

・令和6年 沖縄地方の年降水量の地域平均平年比は127%でかなり多く、統計を開始した1946年以降5番目に多かった。梅雨の時期(5月~6月)の降水量の地域平均平年比は187%でかなり多かった。11月には、名護を含む沖縄本島北部の複数の地点で記録的な大雨や荒れた天気となった所があった。台風の年間発生数は26個(速報値)で平年並だった(平年は25.1個)。沖縄県への台風の年間接近数は8個(速報値)だった(平年は7.7個)。

・令和5年 沖縄地方の年降水量の地域平均平年比は88%で少なかった。(略)一方、8月は台風第6号の影響を長く受けたこともあり月降水量の地域平均平年比は216%でかなり多く、統計開始以降最も多かった。

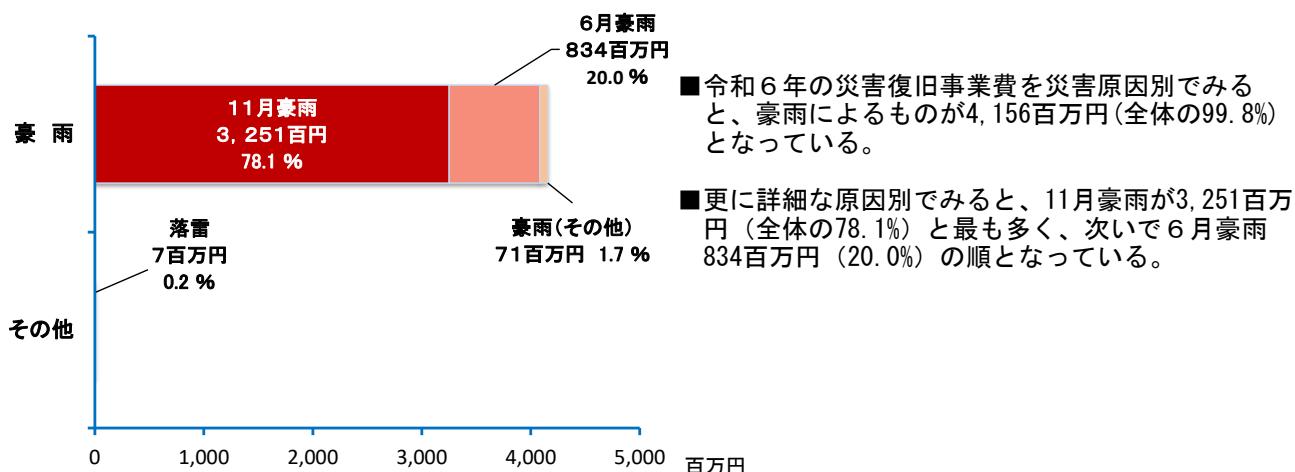
### 2. 施設別の状況



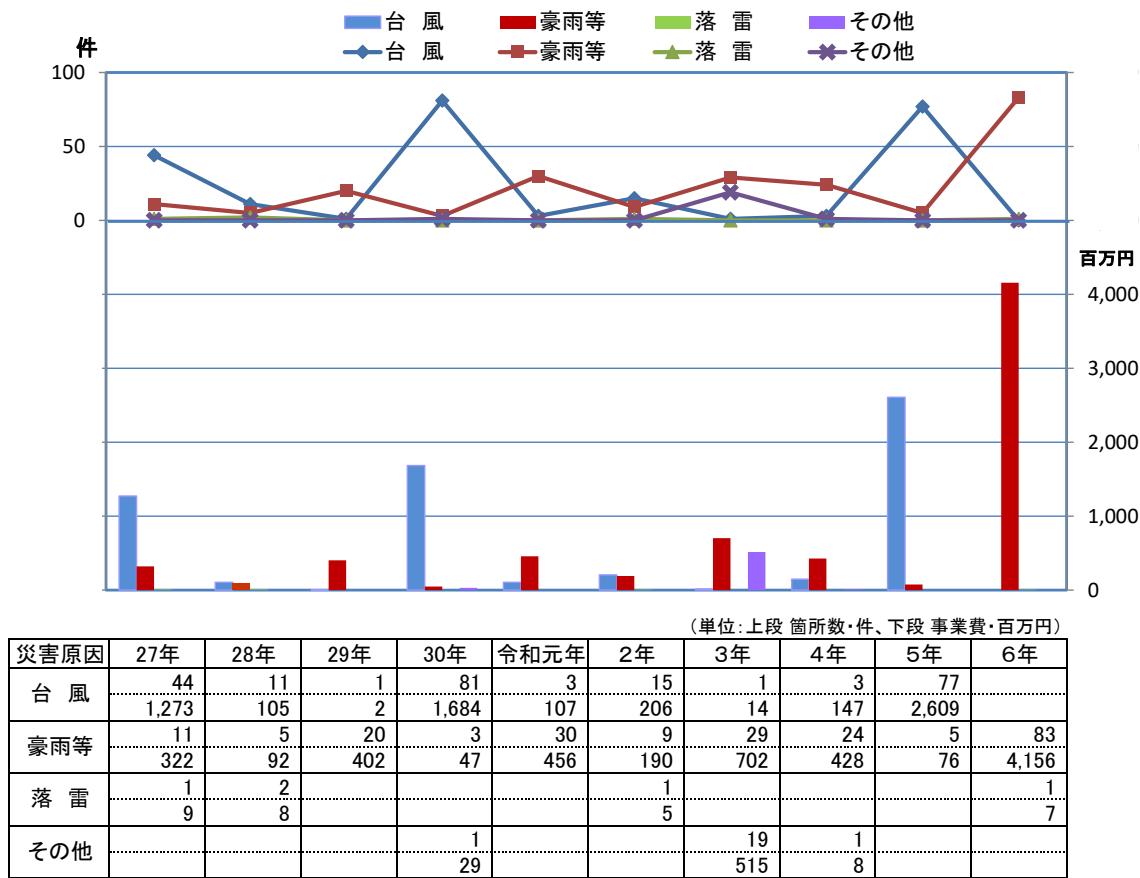
■令和6年の災害復旧事業費を施設別でみると、河川等が3,131百万円(全体の75.2%)、林道施設が531百万円(12.8%)、農業用施設が374百万円(9.0%)と3施設で9割以上を占めている。

■次いで、農地63百万円(1.5%)、林地荒廃防止施設(負担法)54百万円(1.3%)、その他補助施設11百万円(0.2%)となっている。

### 3. 災害原因別の状況



【災害原因別の推移】



【(参考)台風発生等の状況(出所:沖縄気象台)】

	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
台風発生数	27	26	27	29	29	23	22	25	17	26
うち沖縄県接近数	6	7	7	13	7	6	7	6	6	8

※それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

【お問い合わせ先】  
沖縄総合事務局財務部理財課(主計班)  
電話 098-866-0092